



きらきら

第23号 2021年11月17日発行

一段と日が暮れるのが早くなり、朝晩の冷え込みが晩秋の訪れを感じるこの頃ですね。ようやく感染症も落ち着き始め、学校やご家庭で今まで自粛していた活動やイベントが再開しつつあるかと思います。のぞみ学園かめありでも感染症には気を付けつつ、グループの中で簡単な調理活動や外出活動を取り入れていきたいと考えております。調理や外出活動は、その活動自体を楽しんだりお友達と協力したりする目標以外にも、事前の話し合いや事後の振り返り、作文などで、様々な目標を設定することができます。どうして特別な活動が大切かと言うと、人間は『感情』と『記憶』が密接に関わっているため、楽しい活動、特別な活動を利用することで、新しい知識や行動の獲得に繋げやすいからです。私たち大人も『印象に残る』事が色々ありますよね。まだまだ、感染症収束とはいきませんが、冬休みで楽しい活動をされた方は、是非そのチャンスを見逃さず、振り返り活動に取り組んでみてください。お休み明けのご報告を楽しみにしています。

社会福祉法人のゆり会 のぞみ学園かめあり 園長 早川 薫

【活動紹介】

◆今月は木曜グループの紹介です。

木曜は高学年のSSTグループです。集団を意識して課題に取り組むことや言葉での表現を目標として、みんなでゲームや発表を主に行っています。相手と自分の距離感やその場に適切な言葉遣いなど、徐々に使い分けができるようになってきています。

気持ちのコントロールを目標に、映画「インサイドヘッド」を導入とし、怒りや悲しみ、不安、リラックスとはどのような気持ちか、体にどのような影響をもたらしているかを一緒に考えています。ゲームの時の盛り上がりから一転、真剣に内面と向き合う姿が見られています。

ハロウィンの期間では、黒とオレンジの画用紙2枚を使って「自分の考えるハロウィン」について制作をしました。剣やかぼちゃ、魔女の帽子など様々なイメージを画用紙で表しており、個性溢れる素敵な作品がたくさんできました！🎃



すてきなハロウィンの制作ができあがりました！

【お知らせとお願い】

◆冬休み 12月29日（水）～1月3日（月）新年は1月4日（火）より指導を開始します。

◆第三者評価について

先日は第三者評価のアンケートにご協力いただきまして誠に有難うございました。いただきましたご意見につきましては3月に一般社団法人サステイナブルからの講評としてまとめられ、東京都福祉保健財団のHPに掲載される予定です。今後の改善に活かしていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

◆体調管理について

寒い日が続き、体調を崩しやすい時期です。感染症の人数や期間等を区役所へ報告する必要があるため、インフルエンザ等の感染症でお休みされる方は、発症日、診断日、罹患期間をお知らせください。（人数のみの報告です。個人情報には報告いたしません。）

◆持ち物の管理について

持ち物を自分でしっかり管理する事もグループ指導の目標です。お子様の荷物、鞆は、のぞみ学園への行き帰りも子ども自身で持つように促しをお願いいたします。また、持ち物の準備もまずは、子ども自身ですよう促し、最後に保護者の方がチェックをして下さい。もし、うまくいかない場合はご相談ください。

ひかり通信

相談支援事業所ひかり

今回は「モニタリング」についてご説明します。相談支援事業所ひかりでは、原則6ヶ月ごとにモニタリングを行います。モニタリングとは計画書（目標）に対しての評価です。目標がどのくらい、どのように達成されているかや、サービスの提供状況を確認していきます。利用している事業所から状況を聞き取り、モニタリング表を作成します。この評価が次の計画書作成や、支援の途中経過を確認する上で大切になります。

受給者証更新時（12ヶ月の評価）は、保護者面談を設けております。ぜひお子様の近況をお聞かせください。その際、質問や相談があれば、サービス担当者にお問い合わせすることも出来ます。相談支援事業所は、保護者とサービス事業所を橋渡しする役割もあります。今後も相談支援事業所の様々な役割を活用していただければと思います。